**職　務　経　歴　書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

○年間にわたり○名規模の工場において、経口および注射剤の品質管理、品質保証業務全般に携わってきました。20xx年から○年間は、分析担当サブリーダーとしてメンバーマネジメントや海外○○社との提携プロジェクトへの参加経験もあります。

**■職務経歴**

□19xx年xx月～20xx年xx月　○○○○株式会社

◆事業内容：○○○○○

◆資本金：○○○百万円　売上高：○○○百万円（20xx年）　従業員数：○○○名　非上場

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 業務内容 |
| 19xx年xx月　～20xx年xx月 | ○○工場　品質管理課 |
| 品質管理業務・検査方法、検査項目の確認・出荷前規格試験・原材料内容、納品日程の確認・SOP作成・異物の依頼分析・機器点検・標準品管理　【担当製品】　注射剤／経口製剤 |
| 工場○名／課長以下10名 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ○○工場　品質保証課 |
| 品質保証業務・GMP査察準備・薬事法改正準備業務：新たな管理システムの構築・自己点検、変更・逸脱管理【担当製品】　注射剤／経口製剤 |
| 工場○名／課長以下8名 |
| 20xx年xx月　～20xx年xx月 | ○○工場　品質保証課 |
| 品質管理業務（同上）および分析担当サブリーダーとしてマネジメント業務・生産管理部門と製造管理部門との定例の会議への出席、情報交換・厚生労働省のGMPやHACCPなどの改訂情報の事前収集と対応方法の検討・海外企業（○○）との生産提携案件プロジェクトへの参加※検査機器や検査方法の改善を行い、生産効率をアップさせ、検査費用のコスト低減を実現。【担当製品】　注射剤／経口製剤 |
| 工場○名／課長以下12名/サブリーダー（メンバー3名） |

**■活かせる経験・知識・技術**

・○○領域における豊富な製品知識

・習得手技　：　理化学試験（HPLC法、GC法）、異物分析（IDP）、○○組成分析、△△解析

・取扱機器　：　HPLC、GC、ICP、浸透圧計、pH計、分光光度計、融点測定装置、○○分析機（○○社製）

**■資格**

・薬剤師免許（19xx年xx月）

・TOEIC 790点（20xx年xx月）

**■自己ＰＲ**

あまり、限定せずに簡潔に！

生産管理部門や製造管理部門との緊密な情報交換など他部署との調整をしながら全体の効率をアップする施策を練ってきました。業務のための知識吸収や情報収集はもちろんのこと、常に現場の意見に耳を傾けてコミュニケーションを取るということを意識していました。そのため問題発生時には、部や課をこえて協力して解決にあたる体制が築けたと自負しております。

以上